



新米先生に憧れて

校長 前田 浩二

私が本校で一番大切にしてきたことは、生徒たちに夢や希望、目標をもたせることです。

先日、本校の卒業生である太鼓芸能集団 鼓童の平田裕貴さんに御講話いただきました。生徒たちの感想を読んでみると、うれしくなりました。全員が夢をもつことの大切さや平田先輩への憧れ等について書いていたのです。誰かに憧れるというのは、夢や希望、目標をもつために一番効果のあることだと思います。それが身近な人であれば、なおさらです。自分たちと同じこの立神中学校で学んだ先輩が、世界で活躍する姿を間近で見て、生徒たちはきっと何かを感じてくれたのだと思います。

実は私も身近な大人に憧れて教員になりました。その方は、私の中学2年時の学級担任K先生です。大学を卒業したばかりの女性の国語の先生でした。教員1年目の新米先生なので、授業はさほど上手ではありませんでした。しかし、一生懸命教えてくれました。とても準備に時間をかけて授業に臨まれていることが、子どもながらに分かりました。それまであまり好きでもなく、成績も芳しくなかった国語に興味をもつようになり、いつの間にか好きな教科になっていました。また、K先生は生徒一人一人のことをよく見てくれました。中学2年生のこの年は、私の父が失業した年でもありました。私はその不安感から、あまり元気がなかったのかも知れません。ある日、K先生が私の自宅を訪ねてこられました。そして、母と話をし、帰って行かれました。その時に母が、「いい先生だね。」と言っていたので、きっと、私の学校での様子が変わったことに気が付き、心配して来てくださったのだと思いました。そんな優しいK先生でしたが、厳しく注意されることもありました。あるとき、女子生徒の日記を男子生徒が盗み読みするという事件がありました。日記の持ち主の女子生徒は泣いていました。私は、つい、「そんなに大事な物なんやったら、机の上なんかには置かんかったらよかったんやないんね。」と言ってしまいました。それを聞いたK先生は、烈火の如く怒り、「もっと女の子の気持ちを理解しなさい。だから前田君は女の子にもてんのよ。」と、私を叱りました。「女の子にもてんのよ。」は、大きなお世話だと思いましたが、自分の日記を読まれるぐらい平気だった当時の鈍感な私の物差しで見るのではなく、もっと繊細な心情も察して寄り添っていく気持ちをもたなければならないことを学びました。そして、K先生の影響で、中学校を卒業してからも教員になるのもいいなという思いを抱くようになり、今に至りました。

我々大人は、周りにいる子どもたちに大きな影響を与える存在です。できれば憧れられるような生き方をしていきたいと思います。そのためにも、何かにチャレンジしたり、仕事に一生懸命だったり、生活や趣味を楽しんだりする姿を見せ、大人っていいなと思ってもらうことが大事なのかもしれません。とは言え、我が子3人には、私の背中生き方を見せているつもりですが、誰も教員になるとは言いません。残念。

立神の如く

2年副担任・数学担当 加治屋 和之

11月9日、枕崎の市街地と海岸線を見下ろす片平山公園の一角にある慰霊塔の前で行われた枕崎市戦没者慰霊式に初めて参加しました。この慰霊塔は1963年に、満州事変から太平洋戦争までの戦没者一千四百余柱をまつり、建立されたとのことです。慰霊式には枕崎市長、枕崎市議会議員、枕崎市教育長ら来賓の方々をはじめ、立神中から5名の生徒、枕崎中、桜山中からも代表の生徒が、遺族の方々に混じって参列しました。

時代は昭和から平成、そして令和と移り変わり、昭和20年の終戦から74年の月日が経ちました。平和な日本で生まれ育った私達にとって、戦争とは過去のことであり、教科書や歴史書の中の出来事です。しかし、世界に目を向けると、北朝鮮のミサイル発射実験や核開発の問題、シリア内戦、アフガニスタン戦争、世界の紛争地域への自衛隊派遣など、今もなお戦争状態の国があり、日本も戦争に関連する事態があることが、新聞やテレビで毎日のように報道されています。

私の祖父は、昭和20年3月に東京からおおよそ1220km離れた硫黄島で戦死しました。「いおうとう」は、枕崎市の南方約50kmにある硫黄島(いおうじま)と区別し、そう呼ばれています。

今回の慰霊式の遺族代表あいさつを中学生である私の息子がすることになり、太平洋戦争の歴史、特に硫黄島の戦いについて一緒に調べたり、考えたりするいい機会になりました。

現在の平和で豊かな日本があるのは、自らの命を犠牲にしてまで祖国日本のことを思い、散っていった方々、夫や家族を亡くしながらも子供達を立派に育て上げた方々、戦後の貧しい日本を支えて、さらに発展させていった方々のお陰であるということを再認識することができました。そんな方々に感謝の気持ちを持ちながら、これから私たちは日本の歴史をしっかりと学び、日本人の心を大切にしながら、平和な世の中を日本だけでなく世界に広げていく必要があることをあらためて感じました。

立神中学校では、1年生が5月に万世特攻平和祈念館、3月に知覧特攻平和会館の見学に行き、特攻隊の歴史について学びました。また、2年生は修学旅行で長崎に行き、原爆資料館や被爆地跡を見学したり、被爆者体験講話を聞いたり、戦争や平和に関する調べ学習をしたりしました。その成果として、文化祭で平和をテーマにした劇を行ったり、戦争や平和についての調べ学習の成果を掲示したりしました。

このような機会を通して、戦争の歴史について生徒に考えさせ、平和への思いを繋いでいくことが、我々大人の役割のひとつであると、追悼のことは述べる息子を見守ってくださった方々の温かい眼差しや参列した遺族の方々の年を重ねて小さな背中を見て、思いを強くしました。

入賞おめでとうございます

- 弥五郎どん祭り奉賛柔道大会 中学校男子の部 優勝 2年 天達 朝日
- 第8回県中学校新人体重別柔道大会 男子73kg級 第3位 2年 天達 朝日
- 第67回市内一周駅伝競走大会 中学生男子の部 第2位 立神中セイヤーズ
[区間賞：3年 楠圭輔、大塚蔵之介、篠原稜瑛]

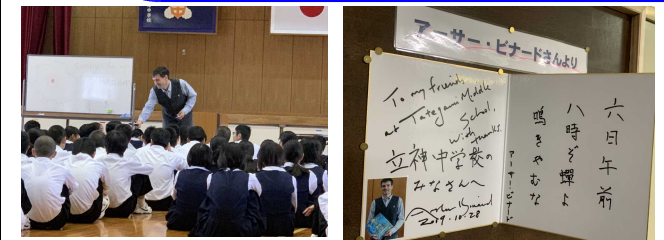
枕崎中 昭和40年卒業生令和元年古希記念同窓会から寄付をいただきました [11月7日]

立神中学校と枕崎中学校もご招待いただき、出席させていただきました。その中で、贈呈式があり、両校に寄付をいただきました。早速、生徒の学習活動充実のためにプロジェクターを購入させていただきました。深く感謝申し上げます。このような先輩方がいらっしゃることは、立神中の誇りです。今後も、母校の後輩たちを温かく見守り、叱咤激励していただければ幸いです。

市民運動会/学生ボランティア・中学生リレー [10月20日] 国体PRダンス「ゆめ~KIBAIYANSE」



アーサー・ビナード氏講演会 [10月28日]



六日午前
八時を過ぎ
鳴きやむな
アーサー・ビナード

第26回文化祭 [11月1日]



がん教育 授業・講演会 [11月14日]

令和元年度がん教育総合支援事業のモデル校として、授業公開(『いのちの授業』道徳科)とがん教育講演会を行いました。自他の健康と命の大切さについて考え、生きる力を育むことをテーマに取り組みました。

【12月の主な教育活動予定】

| | |
|------------------------|----------------------|
| 2日(月) 1・2年教育相談(～12/5) | 14日(土) 土曜授業 |
| 3年三者相談(～12/4) | 16日(月) 朝の声かけ(3-2) |
| 3日(火) 青少年地域育成懇談会 | 19日(木) 薬物乱用防止教室(1年) |
| 5日(木) 読み聞かせ | 租税教室(3年) |
| 6日(金) 1・2年授業参観、PTA | 20日(金) 朝の声かけ(3-2) |
| 7日(土) 県PTA活動研究委嘱公開(知覧) | 24日(火) 終業式 地域生徒会 |
| 10日(火) 校内持久走大会 | 成人式ボランティア打合せ |
| 12日(木) SC(午後) | 27日(金) 仕事納め 成人式リハーサル |